

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	スポーツを通じて四賀地区の活性化を図る事業
事業主体 (連絡先)	四賀元気プロジェクト 松本市会田 1001-1 代表 丸山則行 問合せ: 0263 (64) 2147 事務局: 小口
事業区分	主: その他 地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト事業
総事業費	667,334 円 (うち支援金: 387,000 円)

事業内容

○虚空蔵山米かつぎマラソンの実施

再開2年目となった「虚空蔵山米かつぎマラソン」大会。参加51名。12km、標高差650mのコースで米(男子=10kg、女子=5kg)を背負って競った。地元では「会田富士」と呼ばれる虚空蔵山(1,136m)は山岳修験場であった場所で岩がゴツゴツしたコース。山頂からはアルプスも望め好評であった。おもてなし(地産のきのこ料理)も好評であった。

今回、男女ペアの募集をし3組の参加を得た。ペアの参加者は40~50代の方々と、完走し、ゴールする姿にはとても感動を覚えた。



【頂上の岩場激走】

【目標・ねらい】

- ① 四賀地区への関心度アップ
- ② 地域の住民の理解と力の結集
- ③ 再来者の増加
- ④ この地域を元気にしたい!

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

コースの沿道には昨年に比べ、より多くの住民が立ち、応援の言葉を選手一人ひとりに掛けてくださるなど、地域全体がイベント一色に染まった。

同時開催のIターン者主催の「クラフト店」も、マラソンゴール地点の場所で開催され、入場者の声援をいただいた。マラソン開催の広がり期待したい。

また、運営にイベントスタッフとして地域内の各種団体の協力を仰ぐことができたことは大きな収穫であった。今年も「おもてなし」として用意した「きのこ料理」は大好評であった。

※自己評価【C】

【理由】

参加者募集人員を150人と設定したが、現実には51名に止まった。他のイベントとの重複等、原因は明らかです。検討を重ね29年度に備えたい。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

既に、29年度に「虚空蔵山米かつぎマラソン」の開催を決定した。早めに募集に着手し28年度の大会よりも多くの参加者を集めたいと考えている。地域にこのイベントが長きに渡って継続できるように地盤固めに力を注いでゆきたい。そのためには、より多くの協力者、地域住民への浸透を図るべく動きたい。県内、周辺市区町村、四賀地域の参加募集に重きをおきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある